

ひさえだ

# 久枝地区

面積：4.89 km<sup>2</sup>

人口：20,354 人（高齢化率 24.0%）

世帯数：9,189 世帯

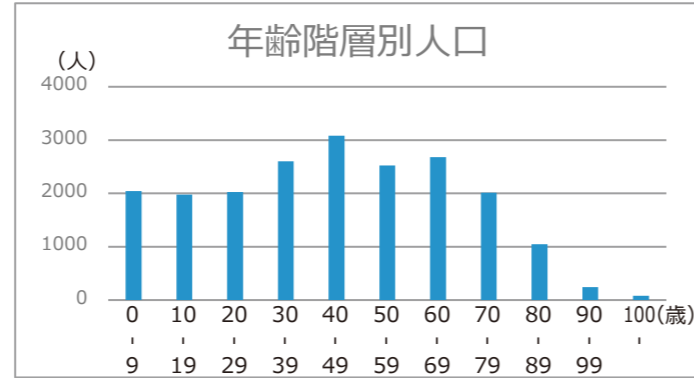


## 【地区の特色】

久枝地区は、松山城の北西の方向にあり東西約 2km、南北約 4km の長方形のような形をしている。かつてはのどかな田園地帯であったが、市街化区域に指定されてからは南は住宅地域、北は農業地域、中央付近には工場が建ち並ぶように変貌してきた。バイパスや県道が縦横に走り、多くの企業をはじめ、学校・病院・マンションや住宅等が建ち並ぶ町となった。近年、人口が増え、交通の便も良くなってきたこともあって、居を求めてくる人々が多くなる傾向が見られる。



眼下の中央卸売市場



## 【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	地区の弱み	地域が抱える福祉課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の登下校の見守りを地域の人が行っている</li> <li>・地区の行事が多い</li> <li>・良い意味で田舎であるが交通のアクセスは良い</li> <li>・良い人が多い ・子どもがよく挨拶してくれる</li> <li>・生活がしやすい</li> <li>・伝統文化を大切にしている</li> <li>・中央卸売市場がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい住民が地域の行事になかなか参加してくれない</li> <li>・久枝公民館がせまく、集会所には駐車場が少ない</li> <li>・バスの本数が少ない</li> <li>・交通量が多い</li> <li>・久万川の水害が不安</li> <li>・空き家、休耕地や耕作放棄地が多い</li> <li>・街灯が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敬老会の時に高齢者の年齢制限があって参加できない</li> <li>・町内会に入る世帯が減っている ・子どもの減少</li> <li>・老々介護の増加</li> <li>・各団体の役員のなり手が少ない ・福祉を支える人が少なくなる</li> <li>・県道の交通量が多く危険 ・ため池があり安全面の不安</li> <li>・空き家が増加している ・災害時の避難ルートの確保</li> <li>・久万川が汚れている</li> <li>・イヌネコの糞害 ・ゴミ置き場のカラス被害</li> </ul>

## 久枝地区社会福祉協議会

人いきいき 誰もが住みたい 久枝に

構成団体	地区民協・公民館・町内会連合会・まちづくり協議会・支所
主な取り組み	活動内容
サロンの作品展示	公民館と連携し、地域の文化祭でふれあい・いきいきサロンで作られた手芸品等を展示しています。
昔遊び集会 名人さんに学ぼう	地域住民が昔の遊びや名人芸などを伝え、小学生との交流の機会を図っています。また、児童館行事にも積極的に関わっています。
独居高齢者訪問事業	地域内の一人暮らし高齢者を対象に日常生活の慰労を目的として地区民協と連携し、自宅を訪ねる活動を続けています。

## 三世代交流もちつき

地域における福祉学習の一環として、毎年 11 月 23 日に地域内の多世代が交流できるイベントを実施しています。世代を超えたつながりを通じて、地元への愛着を高めてもらえればと継続した活動を行っております。



## <地区社協が目指すもの>

《城の西北 緑の丘に 名も久枝…》と小学校の校歌にも歌われてきた久枝地区です。都市化が進み、当時の田園風景を残しながらも住宅地区が増え、中央卸売市場を代表とする商業施設があり、小学校・中学校・高校・盲学校・児童館など教育施設も充実している街と自負しています。

そうした中、『人いきいき誰もが住みたい久枝に』を基本理念とし、何時でも気軽にお互いに声を掛け合い、おしゃべりをしたり助け合ったり、子ども達の成長を見守り、高齢者や弱者を気遣う、そのような久枝地区でありたいと願っています。

地区の状況	■地区民協 民生委員 主任児童委員	28 名 2 名	■町内会・自治会・区長会等	14 団体
	■まち協の設立	平成 29 年度	■高齢クラブ	3 クラブ
		■子ども会	3 団体	
		■自主防災組織	15 組織	

近年、交通条件の整備等に伴い企業の誘致や様々な公的・生活施設が増加し、人口の増加が認められる地域です。新たにこの地域で生活をはじめた人々と長年の生活の場にしてきた人々が一体となって子どもや地域全体を守っています。そうした中、地区社協では地域住民と子どもたちをつなぐ活動が積極的に進められており、今後は、複数世代間の連携の強化や、地域住民の力を活用できるような地域組織づくり、それを基盤とした地域の自然および環境の把握を進め、より安全・安心に暮らせるような地域をつくりあげることがさらに期待されます。



# 地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

## 『地域カルテ』とは

日常生活における不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域がどのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録(カルテ)を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区
	伊台地区
	湯山地区

第6	宮前地区
	三津浜地区
	高浜地区
	興居島地区
	中島地区

第8	浅海地区
	立岩地区
	難波地区
	正岡地区
	北条地区
	河野地区
	粟井地区
	立岩地区

第2	久米地区
	浮穴地区
	小野地区
	石井東地区
	石井西地区
久谷地区	

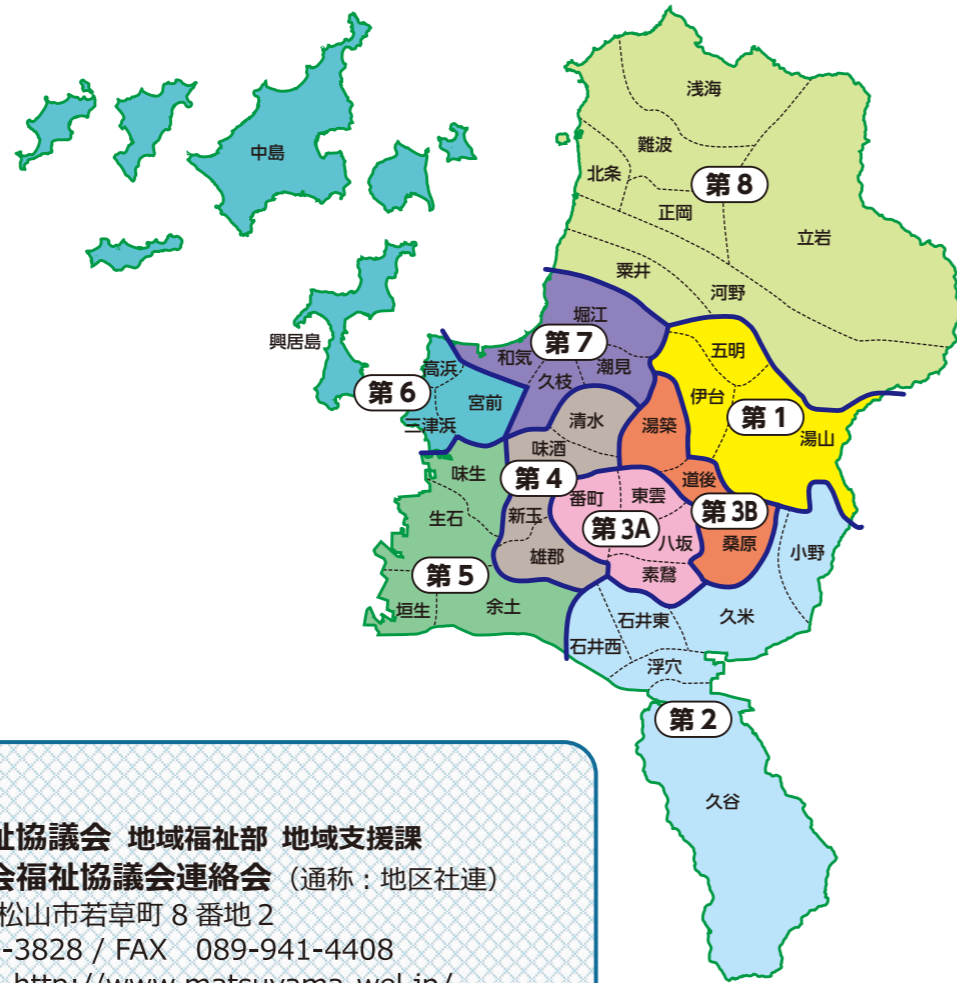
第7	潮見地区
	久枝地区
	和気地区
	堀江地区

第3A	番町地区
	八坂地区
	東雲地区
	素鷲地区

第3B	道後地区
	湯築地区
	桑原地区

第4	雄郡地区
	新玉地区
	清水地区
	味酒地区

第5	余土地地区
	垣生地地区
	生石地区
	味生地地区



発行日 平成31年3月

発行 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課  
松山市地区社会福祉協議会連絡会 (通称: 地区社連)  
〒790-0808 松山市若草町8番地2  
TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408  
Web アドレス <http://www.matsuyama-wel.jp/>

作成 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

## <『地域カルテ』の見方>

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます!

### ①地区の概要

- ・面積、人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の平成30年4月1日現在のデータを記載しています。
- ・地区の特徴は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。

### ②地域住民からみた地域の状況

- ・研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。

### ③地区社協の概要と取り組み

- ・平成30年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。

### ④地区内関係団体データ

■地区民協	平成30年4月1日現在の定数
■まち協の設立	平成30年11月1日現在の設置状況
■町内会等	平成30年度町内会等状況調査(基準日:平成30年6月1日)
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数(平成30年4月1日現在)
■子ども会	平成30年度松山市子ども会連合会加入数
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況(平成30年4月1日現在)

### ⑤地域福祉推進のポイント

- ・聖カタリナ大学 教授 恒吉和徳氏をはじめとする学識経験者の皆様から地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。

《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》

教授 田中顕悟氏、准教授 村岡則子氏、准教授 釜野鉄平氏、助教 近藤益代氏